

オートパワーヒンジ取扱説明書 HC-8T~16T

お願い

- 1.取付けをされる業者の皆様へ
本書は必ず御施主様、御入居者様、又は管理者様へお渡し下さい。
- 2.御施主様・御入居者様・管理者様へ
弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
製品を正しくご使用いただくために、この『オートパワーヒンジ取扱説明書』をよくお読み下さい。
いつでもお読みになれるように大切に保管して下さい。

1.オートパワーヒンジの機能説明とお願い

- 1)この製品は、ドアを自動的に閉じるためのもので、油圧によりゆっくり閉じる構造になっています。
季節の温度変化や窓などの開閉によって、誘発される室内の気圧の変化などにより、ドアの閉じる速度が変わることがあり、極端に速度が速くなるとけがをすることがありますのでご注意願います。ドアの閉じる速度は、閉扉速度調整バルブによりコントロールすることが出来ますので、閉扉速度調整方法に記載した方法で調整して下さい。又、閉じかけているドアを閉じる方向に強く押したり引いたりしないで下さい。強制的な閉扉操作はオートパワーヒンジ本体内部の油が漏れたりして、閉扉速度が調整不能となる原因になります。
- 2)防火ドアに使用されている場合は、危害防止措置に基づいた閉扉時間以上に設定して下さい。(閉扉時間は、調整の項を参照) 設定以下(閉扉速度が速くなる)になるとけがや事故につながるおそれがあります。
- 3)オートパワーヒンジ本体から油が漏れたり、部品が破損した場合は速やかに、まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、又は施工業者様に修理、交換依頼をして下さい。油漏れは放置しておく、閉扉速度のコントロールが効かなくなり事故につながるおそれがあります。
- 4)オートパワーヒンジ本体の分解、改造、又は速度調整バルブを必要以上に回転操作しないで下さい。中の部品や油が飛び出して思わぬけがをしたり、衣服やドア、床などを汚すおそれがあります。
- 5)オートパワーヒンジは一定角度以上開かない構造になっています。破損防止のため、ドアを限度以上無理に開かないで下さい。

2.お手入れ方法

- 1)オートパワーヒンジの取付ネジに緩みが生じていないか時々点検して下さい。緩んでいた場合はネジを締直して下さい。
- 2)腐食予防のためにオートパワーヒンジの見えがかり部分は時々掃除をして下さい。又、結露が生じた場合は乾いた布で拭いて下さい。

3.異常を感じられた際の対処方法 (調整が難しい場合は、まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、又は施工業者様にお問い合わせ下さい)

現 象	考えられる原因	点検箇所	対処方法
ドアの閉じる速度が徐々に速く、又は遅くなった	→ 季節の温度変化など	→ 速度調整バルブ	→ 閉扉速度の調整方法を参照願います
ドアの閉じる速度が急に速くなった	→ 油漏れ	→ オートパワーヒンジ本体	→ まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、又は施工業者様に交換依頼願います
ドアの閉じる速度が急に遅くなった	→ 油の流れが悪い	→ 速度調整バルブ	→ 閉扉速度の調整方法を参照願います
閉じる際「バタン」と大きな音がするようになった	→ ネジの緩み	→ 取付ネジ	→ ネジを締付けて下さい
	→ 油漏れ	→ オートパワーヒンジ本体	→ まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、又は施工業者様に交換依頼願います
ドアがスムーズに閉まらなくなったり異音がするようになった	→ ネジの緩み	→ 取付ネジ	→ ネジを締付けて下さい

この商品は、ドアを自動的に閉じる為の機械です。

安全に長くご使用頂く為に、以下の「注意事項」をよくご理解頂き、正しくお取り扱い下さい。

《注意事項》

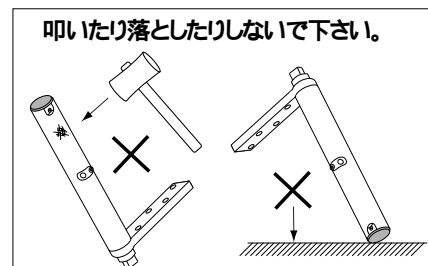
1. 油が洩れるとドアが勢いよく速く閉まり、指をはさんだりドアとの接触事故を起す危険があります。本体に油のにじみや洩れが発生し、速度調整をしても油圧が効かず、ゆっくり閉まらなくなった場合は、速やかに修理、交換して下さい。
強制的な閉扉操作は油が洩れる等の不具合の原因になります。
閉扉中のドアを無理に速く閉めないで下さい。
2. 閉扉速度は調整バルブを左右に回し適正速度に調整して下さい。
調整バルブは回転が止まるところより無理に回さないで下さい。
3. 軸座の設置方向を間違えないで下さい。
4. トップ軸は受金具に完全に入り込むようにして下さい。
不十分な場合は、トップ軸が抜けてドアが転倒する危険があります。
5. 取付け、据付け時に叩き込まないで下さい。主軸、アーム、トップ金具は折損事故につながるので削らないで下さい。
6. 水のかかる場所（プール、浴室、外部等）には使用しないで下さい。
7. 強風が吹いている時やドアを急に開閉すると、指をはさんだりドアとの接触事故を起す危険があります。
開放限度角度以上に開くとドアや壁等の損傷、本機が破損しドアが転倒する大きな事故が発生する危険があります。
風の強い場所には、カタログ表示より1ランク上の品番をお使い頂き、風除室、戸当りの設置等の安全措置を講じて下さい。
8. ドア及び金物にぶら下がって遊ばないように注意して下さい。
9. 軸座はモルタルにて固定して下さい。

《施工時のお願い》

1. ドアを安全に開閉出来るよう、枠及びドアの補強（裏板）は強固に設置して下さい。
2. 取付け、据付け時に叩き込まないで下さい。
3. 金物の取付ネジは緩まないように、しっかりと締付けて下さい。

《安全管理の点検》

- 《注意事項》に加えて、次に示す項目を点検して下さい。
1. 金物がスムーズに作動するか。
 2. 変形、破損、音鳴り、ガタツキがないか。
 3. 取付ネジの緩み、脱落がないか。



商品保証について

弊社の製品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、又は販売店様に修理、交換をご依頼下さい。

保証期間

建築会社様よりの引渡し日（注1）（注2）から2年間（オフセット型は1年間）。

（注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了日とします。

（注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡し日とします。

保証内容

取扱説明書、又はその他の記載事項に基づく適正な使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理、交換いたします。

ただし、本来の使用目的以外の用途に使用された場合は保証の対象にはなりません。

免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理、交換になります。

- ①施工要領書などに基づかない施工の不備に起因する不具合
- ②製品の性能、又は適用範囲（ドアの重量、サイズ、開閉回数など）を超えたドアの使用、又は超えた場所に取付けられたことに起因する不具合
- ③窓の開閉などによって誘発される屋内の気圧の変化に起因する不具合
- ④建築躯体の変形などに起因する不具合
- ⑤結露及び雨がかりによる錆、カビ、変色、腐食などの不具合
- ⑥製品、又は部品の経年変化（使用頻度が高いことに伴う著しい消耗、摩耗など）や経年劣化（使用頻度が高いことに伴うゴム部品・樹脂部品の変質、変形、変色など）、又はこれらに伴うドア開放時の停止不能などの不具合

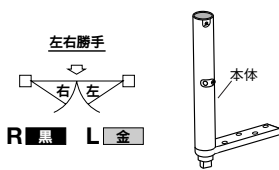
- ⑦製品周辺の自然環境、住環境などに起因する腐食、又はその他の不具合（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿及びオゾンガス環境下による不具合など）
- ⑧天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、津波、噴火、洪水、地盤沈下、火災など）に起因する不具合
- ⑨引渡し後のドアの操作誤り、オートパワーヒンジの調整不備、又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
- ⑩お客様自身の修理、改造などに起因する不具合
- ⑪床クリーニング仕上げの洗剤、薬品、水などの浸入による不具合
- ⑫犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

※お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、交換、その他についてご不明の場合は、最寄りの弊社支店・営業所にお問い合わせ下さい。

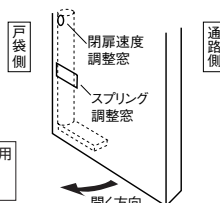
① 施工前の確認

ドアの開き勝手とオートパワーヒンジ
本体の左右勝手を確認して下さい。



2 調整窓の確認

戸袋側に調整窓があるか確かめて下さい。



調整窓が通路側に向く、逆窓用
本体も製作可能です。
発注例：HC-10T逆窓

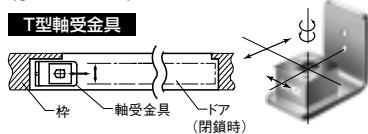
③ トップピボット (上枠側・ドア上部)、本体 (ドア下部) の取付

ネジで取付けて下さい。

④ 軸受金具の取付

軸受金具は下げふり等により上下の芯を出して取付けて下さい。防火・防煙ドアを閉めた時に軸受金具がドアと平行に、又、床と水平になるように調整して下さい。スラブの鉄筋を溶接固定後、モルタル仕上げを行うようにして下さい。

T型軸受金具

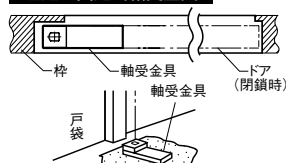


軸芯位置及び軸穴方向の調整可能。
(調整後、溶接で固定して下さい)



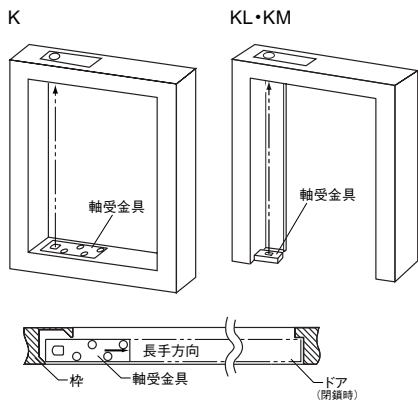
注) 軸受金具の方向は、閉鎖時戸先側の印字が戸先側に向いている事を必ず確認してから軸受ブロックを確実に溶接して下さい。

埋込型固定式軸受金具

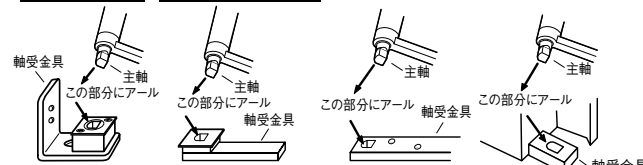


⑤ ドアの吊込み

出荷時に本体のパネは3穴分仮巻きしてあります。スプリングセット棒を使用し、スプリングセットピンを外して順次やり送り、パネを戻して本体をフリーな状態にして、ドアを吊込んで下さい。スプリングセット棒は同梱していません。




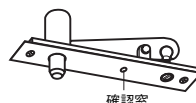
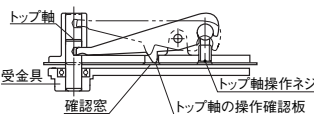
T	T型軸受金具	埋込型固定式軸受金具
---	--------	------------



●主軸と軸受金具のアールを確認して下さい。
アールの位置が合わないと吊り込めません。位置がずれている時は主軸を回して合せて下さい。

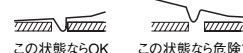
ドア倒れ防止・安全確認方法

ドア吊込後、ドアがトップピボットで確実に保持され、倒れ等の事故につながらないように、その安全性を確認する方法です。必ず確認して下さい。



- 吊込みはドアを斜めに主軸を軸受金具に入れてドアを立てて下さい。
- 主軸が軸受金具に完全に入った後、トップヒンジの軸を出してドアを吊込んで下さい。

トップ軸がトップヒボット(ドア側)に完全に入り込むよう
トップ軸操作ネジが回らなくなるまで締込んで下さい。
トップ軸の操作確認板がおりているか確認窓から
チェックして下さい。



⑥ スプリングの巻込み

①

Diagram 1 shows a cross-section of a spring set seat (スプリングセット座) with a central hole. A spring set rod (スプリングセット棒) is being inserted into this hole. A curved arrow indicates the winding direction (巻き込み方向) into the seat. The text "(本体に表示)" (as shown on the main body) is also present.

バネ巻き穴にスプリングセット棒を
差し込み、必ずドアの開く方向
(本体に←で表示)へ巻込んで下さい。

2本のセット棒を使用し、バネの力が加わった地点から、最初に見えてくるバネ巻き穴を1ヶ目として穴数をかぞえながらバネを規定巻数まで巻込む。

③

スプリングセットピン

赤い補助ネジ

規定巻数のバネ巻き穴にスプリングセットピンを差込み、赤いネジを取外す。

(赤い補助ネジは、スプリングセットピンを差込んだり抜き取ったりするときのツマミとして使用して下さい。)

各品番共、上表よりも穴1ヶ余分に巻込めます。(巻過ぎは故障の原因になります。)

注) スプリングセット棒は同梱されていません。
必要な場合はご指示下さい。

品番	スプリングセット ピンを入れる穴	スプリング セット棒φ
HC-8型	5ヶ目	6
HC-10型	6ヶ目	
HC-12型	8ヶ目	
HC-14型	9ヶ目	
HC-16型		8

7 閉扉速度調整

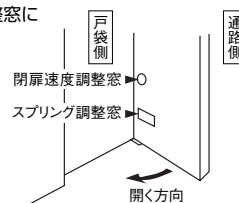
速くなる ← ● → 遅くなる
ードライバーで回して下さい。



※回して止まるところまで調整出来ます。
(バルブを最後まで締込んだ状態より17回転)
回し過ぎて抜けることはありません。

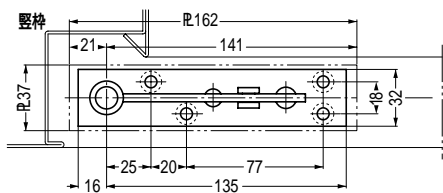
⑧ 隠し蓋の取付

付属の隠し蓋を調整窓に
取付けて下さい。

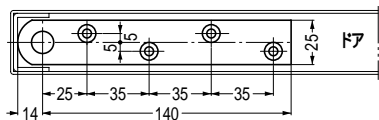


HC-8T

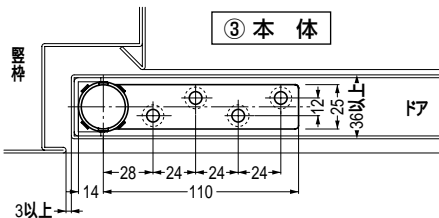
① トップピボット（上枠側）



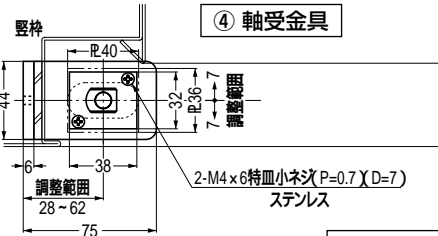
② トップピボット（ドア側）



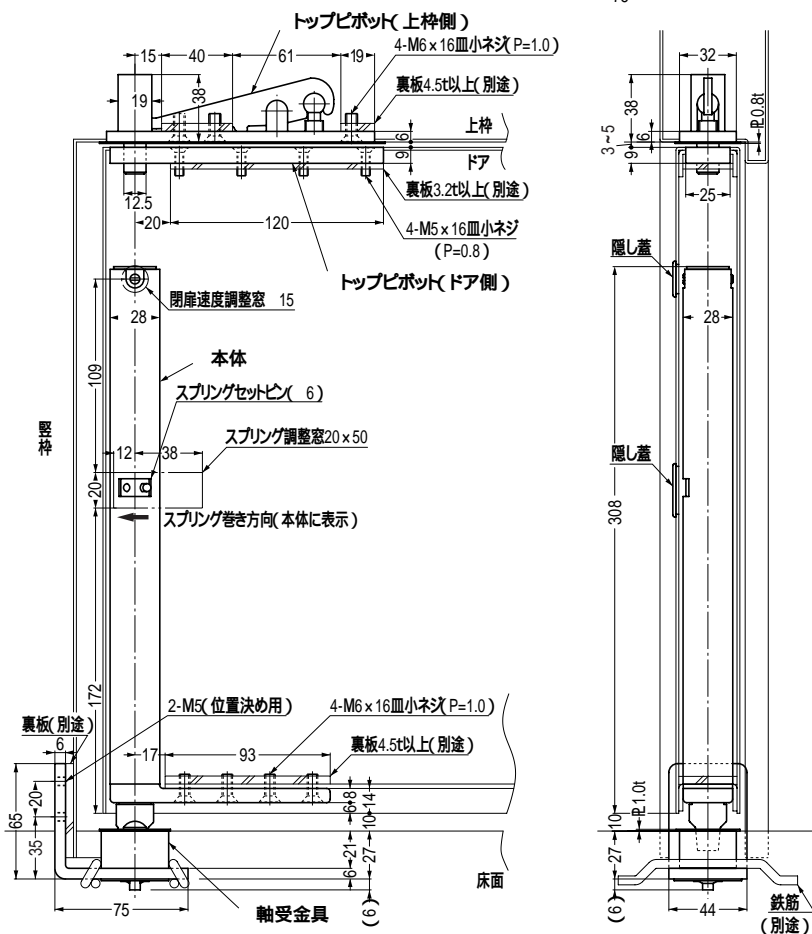
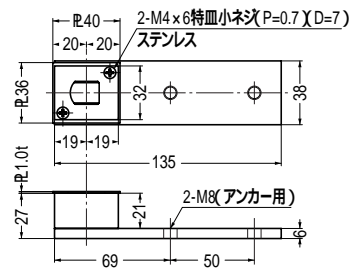
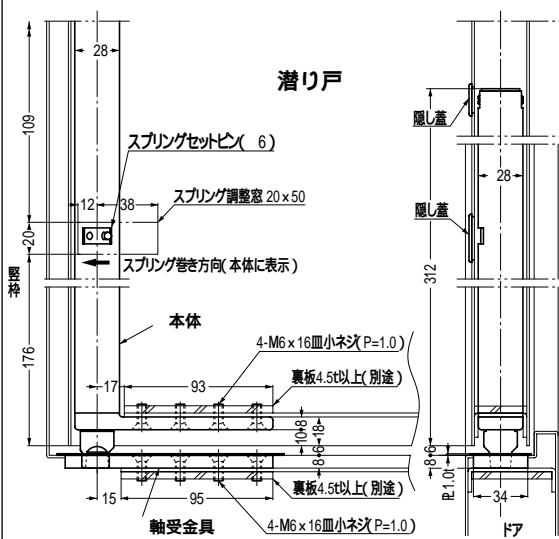
③ 本 体



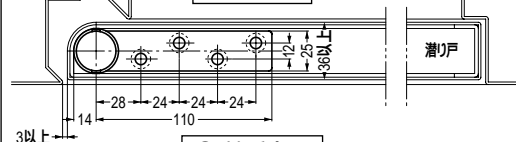
④ 軸受金具



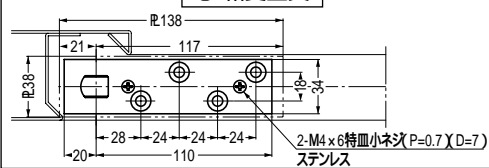
固定式軸受け具

**HC-8K**

③ 本 体

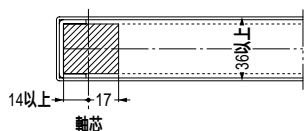


④ 軸受金具



本体取付挿入口

ドア補強チャンネル切欠き図
斜線部を切欠いて下さい。

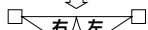


必ず戸当りを設置して下さい。



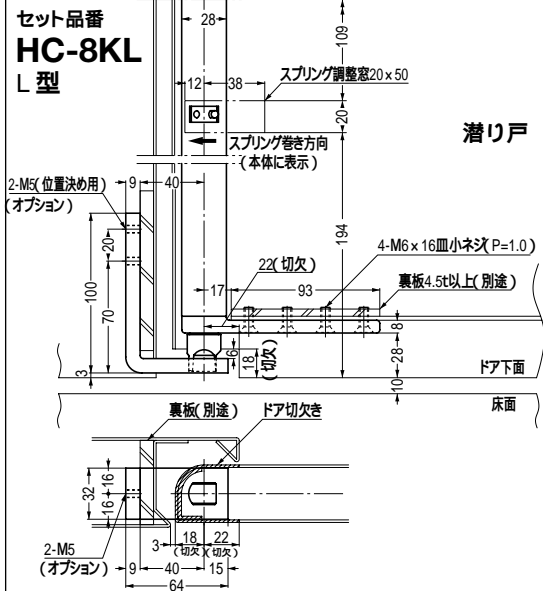
※左右勝手があります。
本図は右開きを示す。

左右勝手

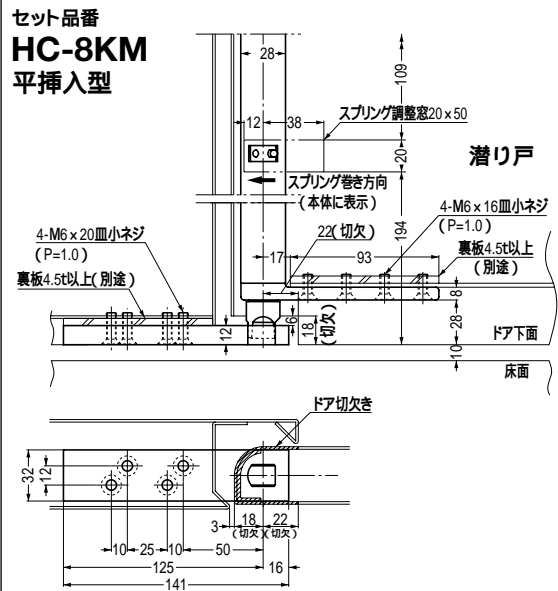


R 黒 **L** 金

セット品番
HC-8KL
L型

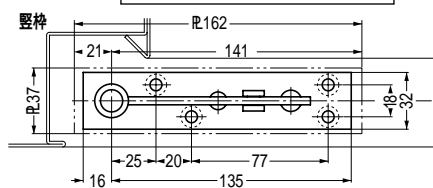


セット品番
HC-8KM
平挿入型

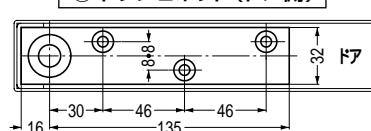


HC-10T·12T·14T

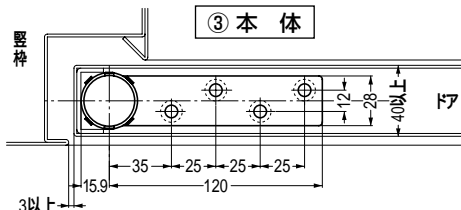
① トップピボット（上枠側）



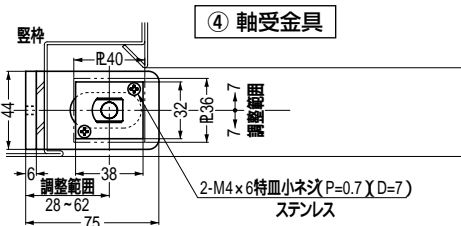
② トップピボット（ドア側）



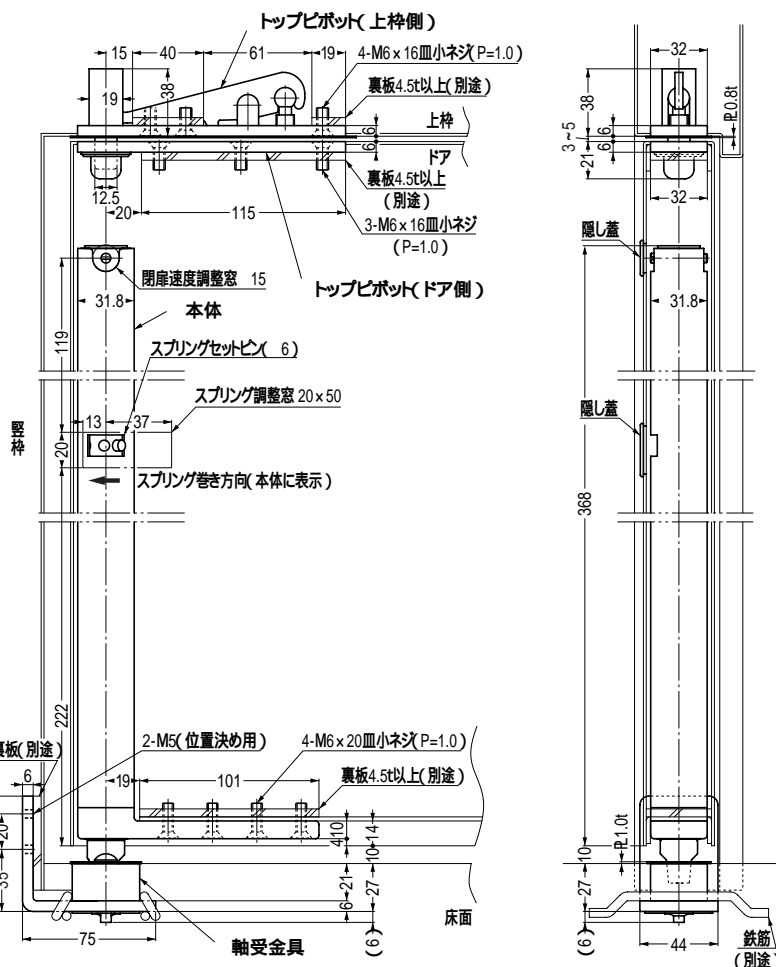
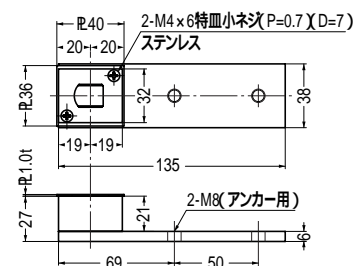
③ 本 体



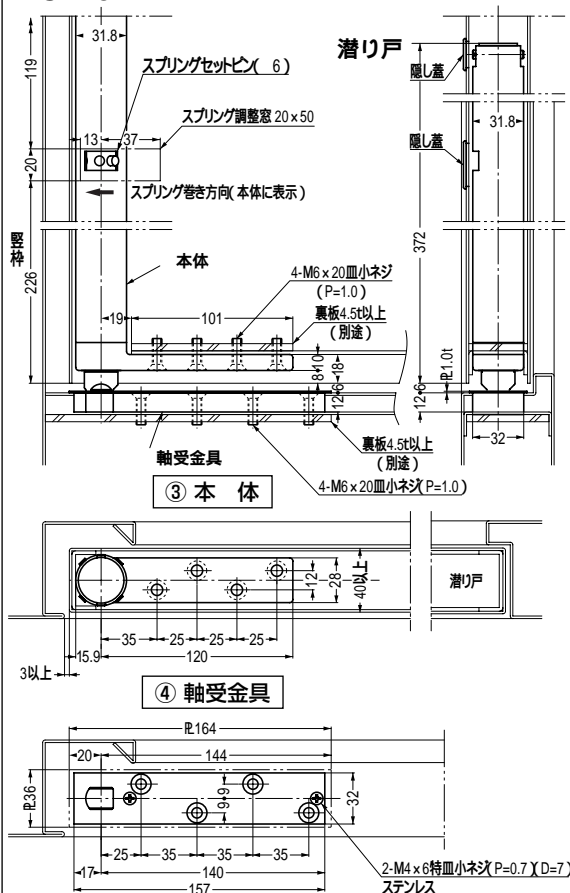
④ 軸受金具



固定式軸受け具

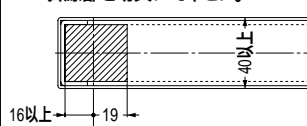


HC-10K



本体取付挿入口

ドア補強チャンネル切欠き図
斜線部を切欠いて下さい。

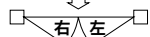


必ず戸当りを設置して下さい。



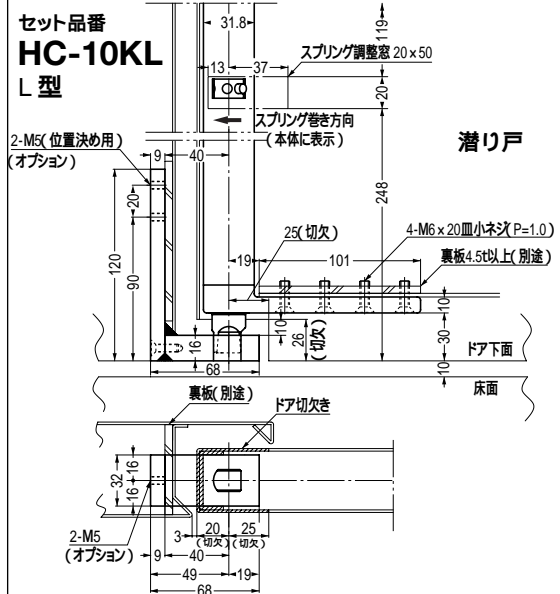
※左右勝手があります。
本図は右開きを示す。

左右勝手

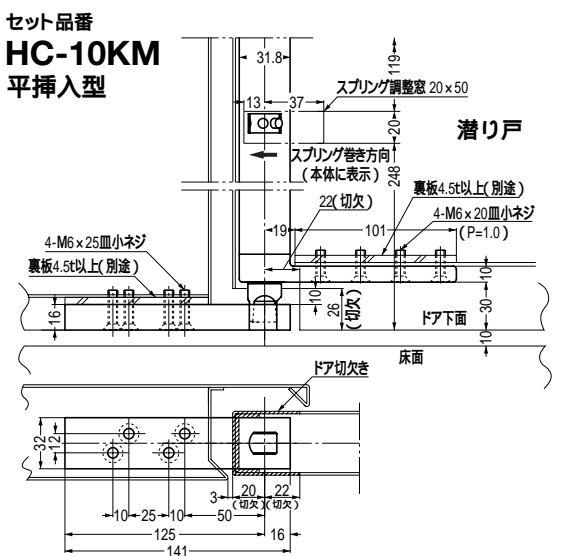


R 黒 L 金

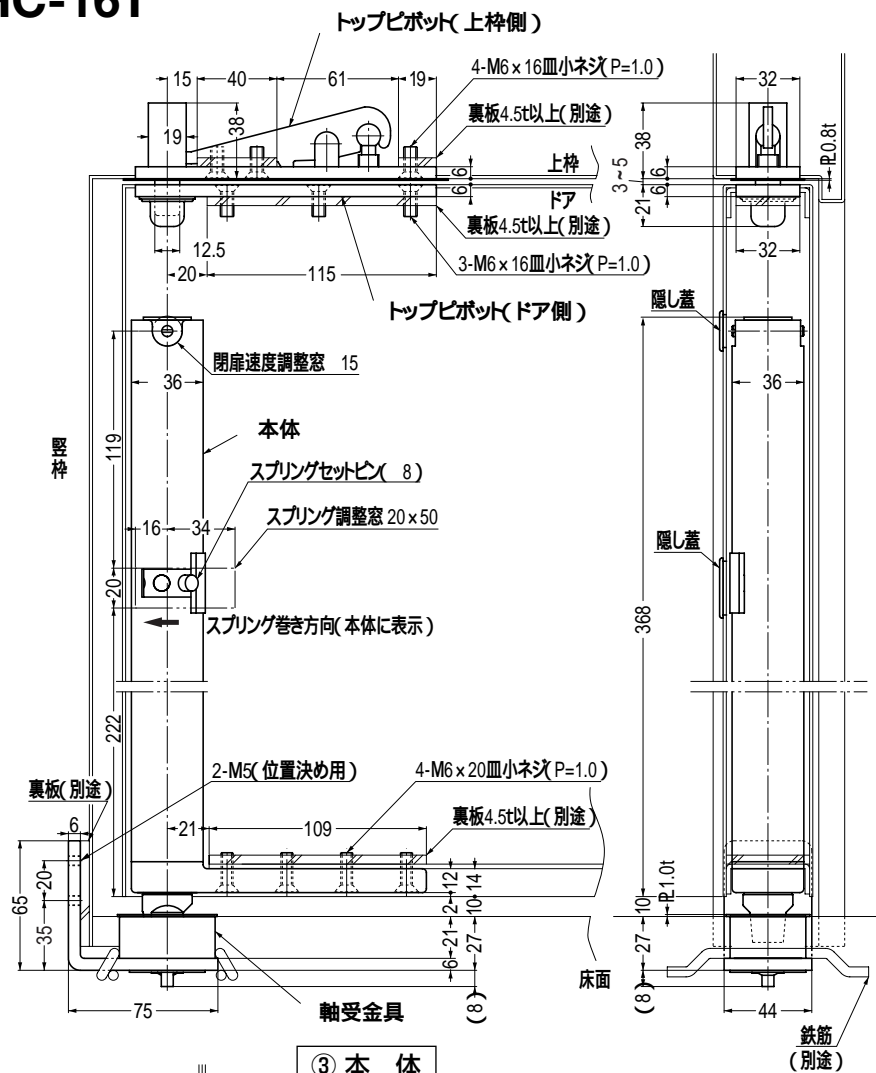
セット品番
HC-10KL
L型



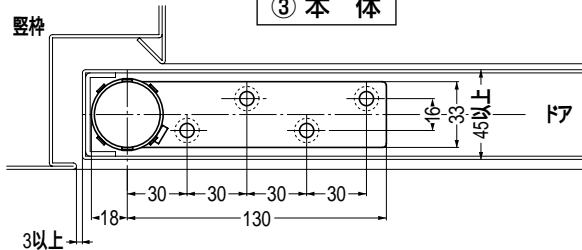
セット品番
HC-10KM
平挿入型



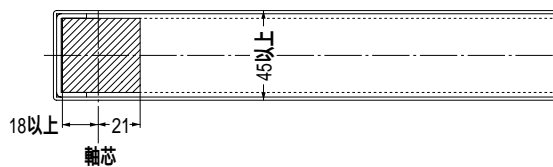
HC-16T



③ 本体



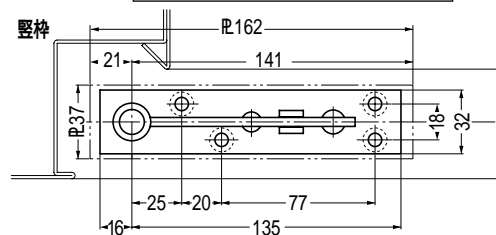
本体取付挿入口 ドア補強チャンネル切欠き図
斜線部を切欠いて下さい。



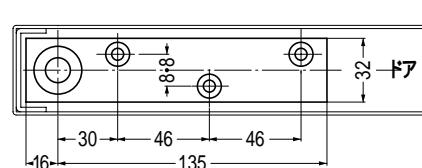
必ず戸当りを設置して下さい。



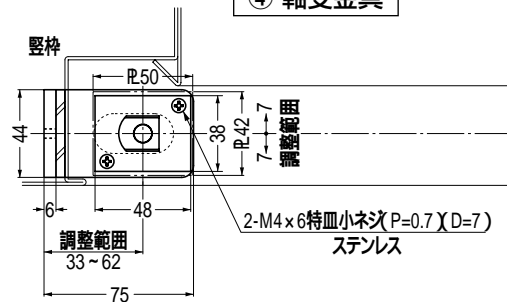
① トップピボット (上枠側)



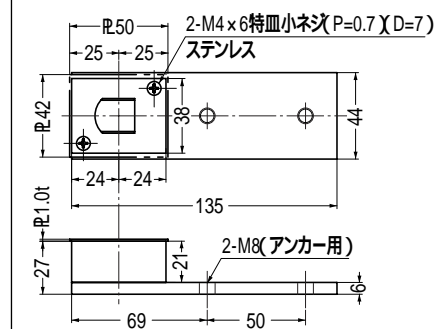
② トップピボット (ドア側)



④ 軸受金具



固定式軸受け具



※左右勝手があります。
本図は右開きを示す。

左右勝手



R 黒 L 金